

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	91
--------	----

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴 有					
事務事業名	空家対策事業						
予算科目	2 款	1 項	10 目	企画費			
予算事業名							
総合計画での位置づけ	住みよい生活環境をつくる						
担当課	経営企画課		担当課長	安倍 達也			
事業担当者	野田 月美		一次評価者	久芳 浩二			
事業の性格	自治事務						
法令根拠等							
事業の対象	町内全域の家屋及びその所有者又は管理者						
事業の目的	全国的に問題となっている空家の管理について、久山町の実情を把握するとともに該当する物件については、利活用をはじめ適正管理を促すことによって、防災・防犯、衛生、環境等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼさないよう対策を講じる。						
実施期間	開始年度	平成 25 年度から					
	終了年度	平成 年度まで					
事業の内容	町内全域の家屋について、住基、固定、上水等の保有データから疑空家を抽出し、現地踏査を行い空家を絞り込む。空家判定を受けた家屋については所有者情報を明確にし意向調査を実施する。また関係部署で連携した相談体制を整備する。						
目的達成の指標	管理者不明物件数						
	区分	年度	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31年度
	目 標	棟		0	0	0	0
実 績	棟		0	0			
指標設定の考え方	空家管理の問題点は、防犯、防災、環境、景観に悪影響を与えることによって住民の生活が阻害されることであり、空家そのものの存在が悪いわけではない。適正に管理されない空き家がないのであればこのような問題も発生しないと思われるので、指標の設定は妥当である。						
事業遂行時懸案事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査の結果、利活用を望む声が少ない。 ・荷物等の保管庫として利用されており、他者への賃貸等が難しい。 ・空き家の老朽化が原因で賃貸を躊躇している。 						
事業実施時懸案事項対応等	<ul style="list-style-type: none"> ・個人財産につき、利活用を強制できない。 ・リフォーム補助金の創設を検討する必要がある。 						

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 180 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目		28 年度予算	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算
事務量	① 人工数	0.80	0.16	0.16	0.16
	② 人件費単価	7,289	7,381	7,350	7,350
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	5,831	1,180	1,176	1,176
事業費	直接事業費	0	412	60	60
	人件費	5,831	1,180	1,176	1,176
	合 計	5,831	1,592	1,236	1,236
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	5,831	1,592	1,236	1,236
	合 計	5,831	1,592	1,236	1,236

事業費計画

(千円)

区分/年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
目 標	0	412	60	60	60
実 績	0	0			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
苦情処理率	%	100	100	100	100
		100	100		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 129 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目		28 年度決算	29 年度予算	29 年度決算	
事務量	① 人工数	0.08	0.16	0.16	
	② 人件費単価	6,768	7,381	7,129	
	③ 補助事業人件費		0		
	人件費(①×②-③)	541	1,180	1,140	
事業費	直接事業費		412	0	
	人件費	541	1,180	1,140	
	合 計	541	1,592	1,140	
財源内訳	国庫支出金		0		
	県支出金		0		
	地方債		0		
	その他		0		
	一般財源	541	1,592	1,140	
	合 計	541	1,592	1,140	

実施備忘録

自己評価	評価者	野田 月美
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ↔ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている※該当する場合は左の口にチェックしてください。		D
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	2	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	2	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	2	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		C
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		C
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		C
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

平成27年度に実施した空家実態調査によると、町内には93件の空き家が存在している。全ての物件について所有者又は管理者が把握できており、現在のところ連絡が付く状況である。しかし、高齢化や核家族化が進む中、今後は管理者不明物件の発生も懸念され、住環境悪化の原因となってくる可能性がある。当面の間は所有者又は管理者に対し適正管理を啓発すると共に、利活用の提案を行っていく必要がある。また、空家の草刈りや、老朽化による損壊等で、役場に苦情が上がってくる件数も増えている。現時点では、空家に対する苦情に対しては、すべて処理できている状態であるが、今後の対応策も検討しなければならない。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

空家の利活用という点からみると、本町はまだ空家バンクが無いため、積極的な情報提供ができない状況にある。平成30年度より、福岡県が県版の空家バンクを設立することになっている。県版空家バンクでは、福岡県宅建協会と共同して空家の情報を掲載していくことになるため、より広域な情報提供が可能となる。久山町としても、久山町空家バンクを創設した上で、県版空家バンクへの参加も前向きに検討し、空家の利活用について積極的に取り組んでいきたい。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価	評価者	久芳 浩二
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ↔ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？		評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。		4	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。		4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。		4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。		5	
2. 町が実施する必要があるか？			
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている※該当する場合は左の口にチェックしてください。			
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。		3	C
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。		4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。		3	
3. 実施内容は適切か？			
①有効性			
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。		4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。		3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。		4	
②効率性			
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。		4	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。		3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。		4	
③公平性・透明性			
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)		5	A
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。		5	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。		3	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了

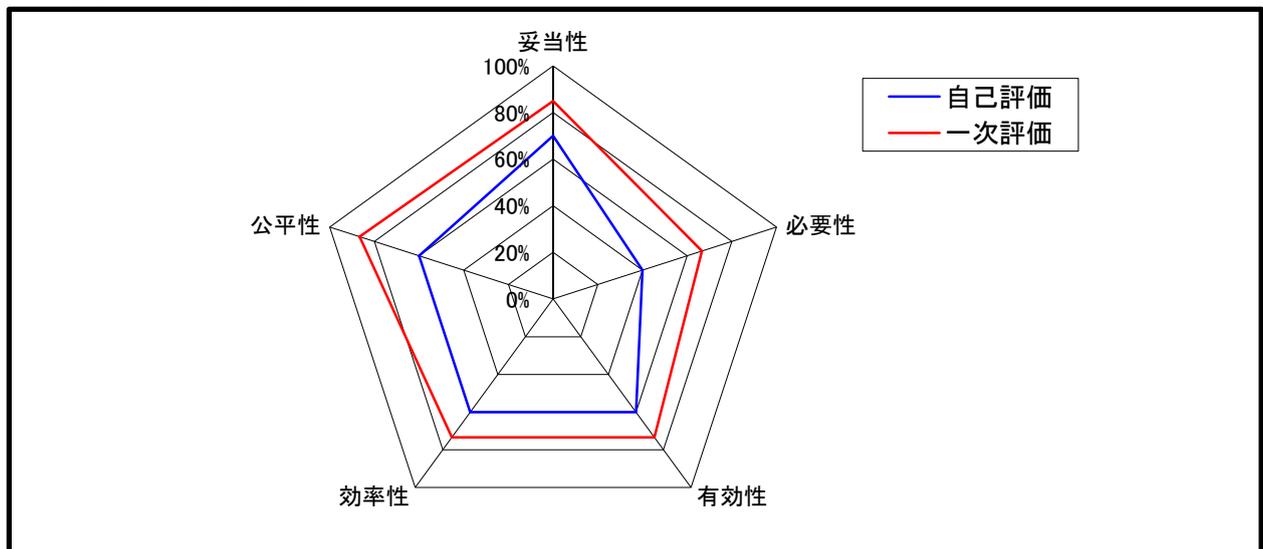


見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

空家については全国的な問題となっており、火災や犯罪の温床になる等の懸念がある。最近では愛媛県今治市で発生した脱獄事件の犯人潜伏場所になったことは記憶に新しい。本町においても空き家は存在しているが、現在のところ所有者又は管理者が明確であり、ある程度の管理はなされている状況である。しかしながら、空家件数は今後増加することが予想され、適切な対応が求められることとなる。
 今後は空家の利活用が促進されるよう福岡県及び先進地事例を参考に、補助金の創設とそれを運用するためにも空家バンクの設置を検討する必要がある。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価	評価者	安倍 達也
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

今後も高齢化や核家族化の進展等により空き家は年々増え続ける傾向であると予想される。そこで、空き家の利活用を促進するための手段として空き家バンクの創設及びリフォーム等の補助金制度の創設が急務である。そのため、福岡県や他の自治体の情報を収集し、本町に適したバンク制度を早急に検討するものとする。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。



一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。

- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。



外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定

- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	
内容	

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	

経営者会議の評価

--